

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	農林水産技術会議事務局総務課	連絡先	03-3502-7399
所管する業務の概要	・農林水産技術会議事務局の総括 ・予算、人事その他庶務一般 ・農林水産技術会議の開催及び議案の整理 ・農業試験研究独立行政法人に関すること ・農業試験研究独立行政法人の職員に貸与する宿舎に関すること		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・外部からの問い合わせ等に対しては、丁寧な対応に努め、省内の担当課に遺漏無く的確に対応されるよう連絡を行っている。 ・課内において平成22年度の業務目標を設定し、職員各自の業務の進め方について確認を行った。	・引き続き、「接遇マニュアル」を確認しつつ、外部の方への対応の改善に努める。 ・課内の各職員が自らの業務や、省全体の動向について把握し、国民視点に立った業務を行えるようにする。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・研究成果の確実な普及・実用化を図るため、研究機関と政策部局との日常的な連携の強化など研究開発の進め方について局内で見直しを行っている。 ・国民への説明責任を意識した研究の推進を図るため、研究のゴール、技術的ブレークスルーポイントを明確化して研究を推進するとともに、研究成果を一般国民、マスコミに	・現下の農政課題に対応した研究開発が行われるよう、事業実施を担当する局内各課と調整しながら、引き続き見直しを行う。また、局の窓口として、省内全体の動きなど広く情報の収集・整理を行っていく。

分かりやすく説明する機会を設けるなど、局内で見直しを行っている。 ・プレスリリースや予算資料等の対外的な資料については、一般国民やマスコミに分かりやすく説明することを意識して作成するよう、各課と調整を図っている。 ・委託事業が円滑に実施されるよう、「委託事業事務処理マニュアル」を作成し、事業を担当する研究機関に配布するなど、事業を遂行する上で参考となる情報の共有化を図っている。	・研究成果のプレスリリースを行う際には、平易な言葉使いを用いること、専門用語に注釈を付けること等を引き続き心がける。 ・今後、研究機関の意見、質問等を踏まえながら、随時「委託事業事務処理マニュアル」の見直しを行う。
--	--

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・完全定時退庁日には、総務課長が各課を巡回して退庁の呼びかけを行うなど、局内の超過勤務の縮減に関する取組を強化した。 ・業務が一部の職員に偏っていないか、定期的にお互いの予定を把握し、業務の平準化を図っている。 ・業務に関する重要な情報については、課内で共有するようにしている。	・引き続き、超過勤務の実績について定期的な検証を行いながら、超過勤務の縮減に向けた取組を徹底する。 ・今後も職員間のコミュニケーションが図りやすい職場づくりを行い、効率的に業務を遂行できるように努める。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策